

平成 26 年 10 月 31 日

公益財団法人京都高度技術研究所
(研究開発本部情報事業部 TEL315-3626)

BLE を用いたディスプレイ型バス接近表示システムの開発について

公益財団法人京都高度技術研究所では、京都市交通局との共同開発により、インターネットを用いた市バス接近表示システム「ポケロケ」をバス停でも利用できるようにするため、近距離無線通信技術である BLE (Bluetooth Low Energy) を用いたバスの接近検知システムを開発し、運用を開始致しましたのでお知らせ致します。

記

1. システムの概要

京都市バスの接近情報を利用者に知らせるために、携帯電話・スマートフォン向けに提供していた、市バス接近表示システム「ポケロケ」のシステムを活用し、バス停に設置されたディスプレイに接近表示を行うシステムを開発いたしました。また、現状のシステムの特性上最大 1 分程度の誤差が生じるため、それを解消するため、株式会社アプリックスが開発した BLE に対応するビーコン機器を市バス車両全 788 台に設置し、発信される電波をバス停設置機器にて検知することで、接近通知の精度を高めました。本システムの導入により、従来型の接近表示機器よりも、より安価な接近表示システムの展開が可能となりました。

2. BLE (Bluetooth Low Energy) について

無線規格の一つである Bluetooth LE は、発信機器を設置するだけで、50m～接触まで、近距離にて、精度高く位置の特定を実現する技術として、様々なサービスへの活用が期待されています。

以上

お問い合わせ先

公益財団法人京都高度技術研究所 情報事業部

池上 (075) 315-6687 ikegami@astem.or.jp